

令和4年度 第2回養父市立大屋小・中学校 学校運営協議会（報告）

1 開会あいさつ（大屋中学校 中村校長）

2 小・中学校の様子や学校評価について

（1）小学校の学校の様子や学校評価について

○全国学力学習状況調査について

- ・質問紙で地域行事に積極的に参加しているということが分かる。

○学校評価（保護者評価）について

- ・学校は、いじめやもめごとなどの問題に適切に対応している。
- ・課題としては、読書活動とそうあんくんの日の取組に課題がある。

○学校評価（内部評価）について

- ・児童理解、体罰防止、開かれた学校づくり、SDGs大屋の食育の推進に関して、高い評価であった。

○大屋小・中学校の健康について

- ・小中学校とも男子は、身長・体重とも全国平均より少し上回ったり、少し下回ったりしているところで特に顕著に体躯について問題はない。女子の身長・体重に関しては、全国平均を上回る学年が多い。
- ・中学校女子では、無理なダイエットにつながらない指導が必要である。

（2）中学校の学校の様子や学校評価について

○全国学力学習状況調査について

- ・小学校同様、地域行事に積極的に参加する生徒が多い。大屋地域の大きな特徴という。

○学校評価について

- ・中学校でも小学校同様、読書活動とそうあんくんの日の取組に課題があるが、昨年度よりも改善が見られており、今後今年度行った取り組みを継続していくことが重要だと考える。

【学校評価 小中学校共通の課題として】

- ・読書の時間が少ない
- ・自主的に家庭学習に取り組めていない
- ・「そうあんくんの日」に主体的に取り組めていない

（3）小中一貫教育の取組

- ・来年度新たな取組として、「上垣守国の日」を設定して取り組みを進める予定
- ・中学校の教師の専門性を生かして、小学校で年間を通した授業を行うように整備する。

(4) 意見交換「大屋小中学校の来年度の学校の取組について」

【学校運営協議会の組織について】

- ・年度当初は、大屋中学校区学校運営協議会は、学校評議委員会と変わらない組織であると中学校長の私は思っていたが、1年を振り返ってみると、運営協議会の方に、校外学習のご協力を得たり、読み聞かせボランティアで関わっていただいたり、50周年記念の講演会の時に、OBの講師の方と繋いでいただいたりして、学校との関わりを十分に持ってもらっており、学校運営協議会の動きができていていると感じている。
- ・以前に市教委が主催した、学校運営協議会の講演会に参加したときに、結構盛んに活動されている、学校運営協議会の紹介があつて、大屋中校区で取り組むことは難しいこともあつた。そこで、他の委員の方とも話をして、大屋中学校校区でできることを大屋らしくやっていけたら良いと理解した。
- ・大屋独自で社会的な活動を考える。例えばクリーン作戦に参加することなど。

【部活動の地域移行について】

- ・来年度から部活動の入部は、全員入部から、任意に変わる。地域クラブへの参加を促す形である。反面、どの部活にも所属しない生徒も出てくるのが危惧される。
- ・色々な選択肢が増えることはいいことである。
- ・部活動が果たしている役割はどうなるのか？縦割りの交流、体力増進、生徒指導など

3 連絡事項

特になし

5 閉会あいさつ（大屋小学校 梅井校長）